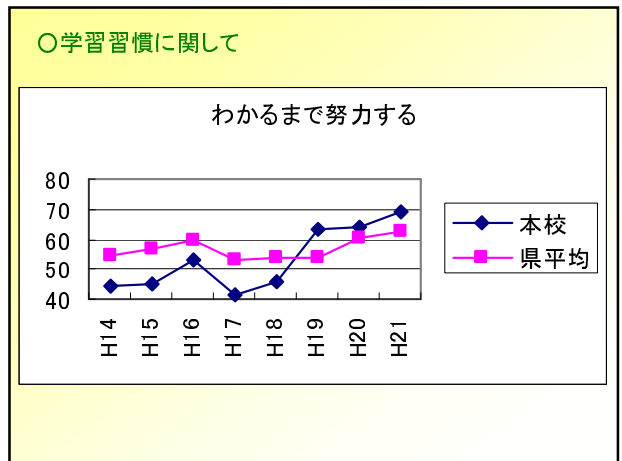
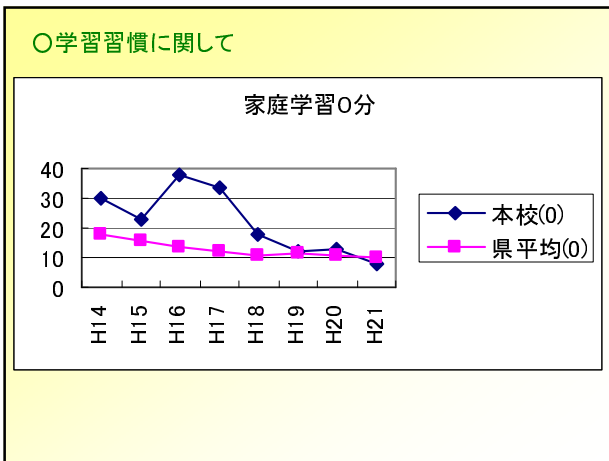
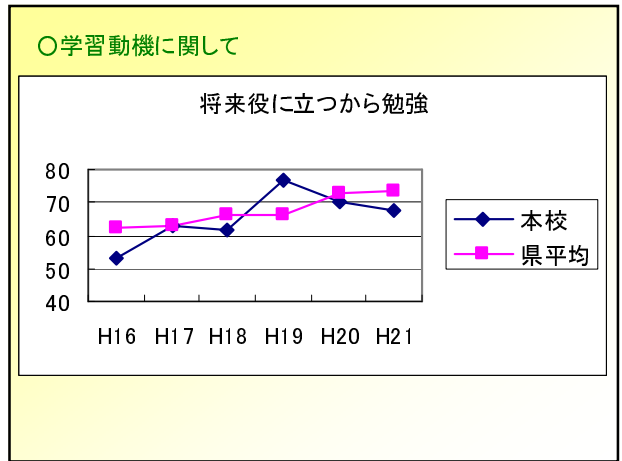
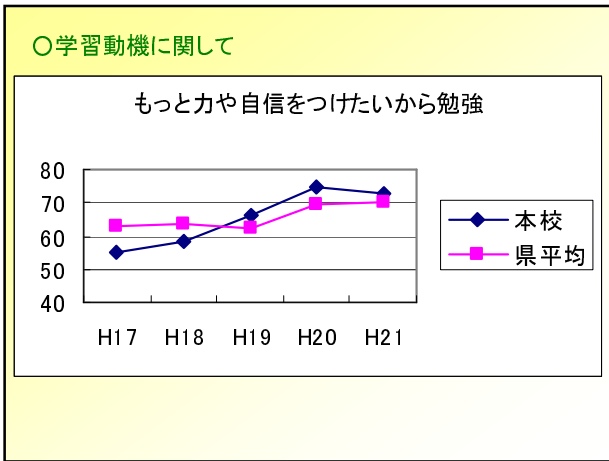




平成20・21年度  
文部科学省指定校  
「道徳教育実践研究事業」



## 幟町中の課題①

学力面の課題

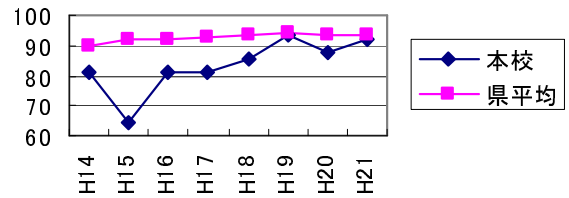
- 低位な学習意欲
- 基礎学力の低さ

平成21年度「基礎・基本」定着状況調査から

- 学習動機に関して
- 学習習慣に関して

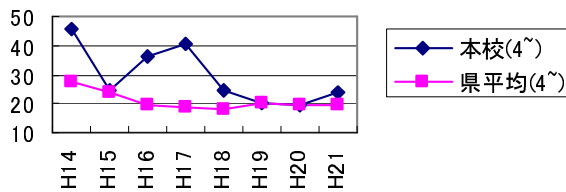
## ○ 朝食について

毎日朝食をとる



## ○ 生活習慣について

テレビやゲーム4時間以上



## 幟町中の課題②

健康・体力面の課題

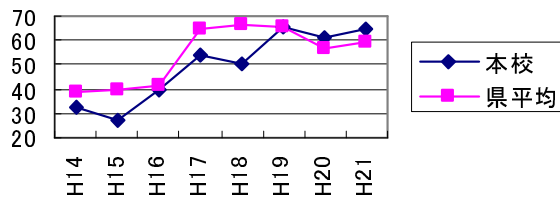
- 基本的な生活習慣の未確立
- 自己の健康・体力管理能力の低さ

平成21年度「基礎・基本」定着状況調査から

- 朝食について
- 生活習慣について

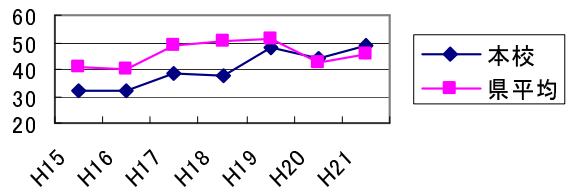
## ○ 自己効力感について

自分のよいところがある



## ○ 自己効力感について

周りから認められている



## 職町中の課題③

精神面の課題

- 不安定な自己肯定感
- 未熟な他者理解

平成21年度「基礎・基本」定着状況調査から

- 自己実現力について
- 自己効力感について

## 学力向上に向けて

その1

### 基礎学力の定着及び学習習慣の定着



ドリル教材の工夫・開発

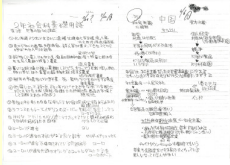
自主勉強ノートの実施や宿題提示の工夫

授業評価表

## ドリル教材

3年 基礎ドリル (2次計算)	題 名
① $(x+2)(x+3) = x^2 + 5x + 6$	② $(x+4)(x+5) = x^2 + 9x + 20$
③ $(x+1)(x+6) = x^2 + 7x + 6$	④ $(x+3)(x+7) = x^2 + 10x + 21$
⑤ $(x+2)(x+8) = x^2 + 10x + 16$	⑥ $(x+4)(x+9) = x^2 + 13x + 36$
⑦ $(x+5)(x+4) = x^2 + 9x + 20$	⑧ $(x+6)(x+3) = x^2 + 9x + 18$
⑨ $(x+7)(x+2) = x^2 + 9x + 14$	⑩ $(x+8)(x+1) = x^2 + 9x + 8$
⑪ $(x+9)(x+0) = x^2 + 9x + 0$	⑫ $(x+10)(x-1) = x^2 + 9x - 10$
⑬ $(x+11)(x-2) = x^2 + 9x - 22$	⑭ $(x+12)(x-3) = x^2 + 9x - 36$
⑮ $(x+13)(x-4) = x^2 + 9x - 52$	⑯ $(x+14)(x-5) = x^2 + 9x - 70$
⑰ $(x+15)(x-6) = x^2 + 9x - 90$	⑱ $(x+16)(x-7) = x^2 + 9x - 112$
⑲ $(x+17)(x-8) = x^2 + 9x - 136$	⑳ $(x+18)(x-9) = x^2 + 9x - 162$
㉑ $(x+19)(x-10) = x^2 + 9x - 190$	㉒ $(x+20)(x-11) = x^2 + 9x - 220$

## 自主勉強ノート



### 自主勉強ノート (C期)

	月	火	水	木	金
3年1組	社会	英語	理科	数学	国語
3年2組	英語	理科	社会	数学	国語
3年3組	理科	社会	国語	数学	英語

## 授業評価表

○月△日(□) : 記入者(××××)					月 日 ( ) : 記入者 ( )						
時期	教科	評価	気づき	ベラ書アクト	改善の授業について	時期	教科	評価	気づき	ベラ書アクト	改善の授業について
1	国	A	① 生徒がワークの答えを早く記入し、まだワークがままならぬ記入していた。	なし	授業で基礎ドリルプリント 4枚セット	1	A				
		B						B			
		C						C			
		D						D			
2	数	A	② 生徒がワークの答えで、基礎のドリルワークの答えに比べて、答えを速く記入していた。基礎のワークも速く記入していた。	なし	基礎プリント 4枚セット	2	A				
		B						B			
		C						C			
		D						D			
3	数	A	③ 生徒がワークの答えで、基礎のドリルワークの答えに比べて、答えを速く記入していた。基礎のワークも速く記入していた。	なし	基礎プリント 4枚セット	3	A				
		B						B			
		C						C			
		D						D			
4	数	A						A			
		B						B			
		C						C			
		D						D			
5	数	A						A			
		B						B			
		C						C			
		D						D			
6	数	A						A			
		B						B			
		C						C			
		D						D			

## 学力向上に向けて

その2

### 授業研究の方向性の共有化



読解力育成のための授業改善

小グループ活動を取り入れた指導方法の工夫

## 読解力育成のための授業改善

「理解」「解釈」「表現」という連続性を考えた授業展開の実施

- (例)
- (読み取る:理解)
    - ① 何が書いてあるか読む。(ゆくり・繰り返し)
    - ② どのように書いてあるか読む。(キーワード)
  - (読み解く:解釈)
    - ③ なぜそのように書いたか読む。(推察性・批判性)
    - ④ なぜそのように書かなかったか読む。(筆者の論理を想像する)
  - (発信する:表現)
    - ⑤ 考えを見えるかたちにする。(記述・文章化)
    - ⑥ 取組として活用する。



## 小グループ活動を取り入れた

### 指導方法の工夫

- ① 全体では聞きにくいこともグループであれば聞きやすくなり、理解につながる。
- ② 他の人の意見を聞くことで、新たな発見や自分の考えをまとめる等、思考や解釈につながる。
- ③ 多くの生徒が表現する場がもてる。

## 小グループ活動



## 自己実現プログラム

年	15のちの学習（総合的な学習の時間）	達成・つぎたい方
一 学 年	<b>理解を深める【1学期】</b> ① 自分という人間 ② 身近な存在である人（仲間い・他者） ③ 平和を築く【1学期】 ④ センシブな態度の育成、寄り添い関わり ⑤ 異文化理解と協働の学習の経験	自己理解（自己肯定・自尊心） 他者理解 コミュニケーション能力 情報収集能力 自己表現力 情報収集能力
二 学 年	<b>理解を深める【1学期】</b> ① 対立の解決の経験 ② コミュニケーション ③ 平和のイメージ（色、絵、文字） ④ 平和意識の醸成 ⑤ 対話を通しての人間関係 ⑥ 思いを豊かに ⑦ 異文化理解と協働の学習	自己理解（自己肯定・自尊心） 他者理解（感受性） 自己表現力 コミュニケーション能力 生活判断力 コミュニケーション能力
三 学 年	<b>理解を深める【1学期】</b> ① 対立の解決の経験 ② 豊かな人間関係を築くために ③ 対話を通しての人間関係 ④ 思いを豊かに ⑤ 異文化理解と協働の学習 ⑥ 自分を知る（自己理解） ⑦ 異文化理解と協働の学習	自己理解（自己肯定・自尊心） 他者理解（感受性） コミュニケーション能力 自己表現力 自己理解・他者理解 自己表現力

成果  
 ①「平和」に関する学習内容が充実した。  
 ②「異文化理解」に関する学習内容が充実した。  
 ③「対話を通しての人間関係」に関する学習内容が充実した。  
 ④「自己理解」に関する学習内容が充実した。  
 ⑤「異文化理解と協働の学習」に関する学習内容が充実した。

## 課題

- ①自己理解・他者理解に必要なスキルが生活の中で十分生かされていない。
- ②小グループが十分活用されていない。（学習規律・仲間との信頼関係が不十分）

## 研究主題

自らを振り返り、  
 相互理解を深めることで  
 自他を尊重できる生徒の育成  
 ～多様な価値観と触れ合い、  
 自己表現の改善を通して～

## 研究仮説

- ①総合的な学習の時間と道徳の時間の連携を図った学習プログラムを行うことで、自他を尊重できる生徒を育成できるだろう。
- ②道徳の時間における中心発問の工夫、ワークシートや小グループの活用をすれば、生徒は多様な価値観とふれ合いながら、自己表現を改善し、自他を尊重する心を育むことができるであろう。

## 研究指標

①アンケートによる意識調査  
意識の量的変容

②道徳の時間のワークシートに記入した記述内容の調査  
意識の質的変容

## 本校の具体的実践

仮説①

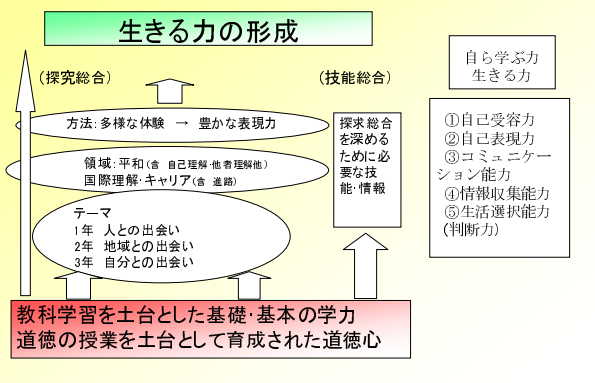
学習プログラムの作成



総合的な学習の時間と道徳の時間の連携

自他を尊重できる生徒の育成

図1：轍町中学校の「総合的な学習の時間」との連携による学力概念図



## 学習プログラム

期	教科・特別活動	連携の時間	連携活動	連携後の意義の深め
10月	総合的な学習の時間 「誇りの郷」早期集会取り組み	①道徳 誰かへの思いやりを伝える	家庭 平和集会・合同集会に向けての準備	①3年間の学習の軌跡を振り返る
11月	総合的な学習の時間 「誇りの郷」早期集会取り組み	②道徳 誰かへの思いやりを伝える	家庭 平和集会・合同集会に向けての準備	②広域からの平和集会に参加する
12月	総合的な学習の時間 「誇りの郷」早期集会取り組み	③道徳 誰かへの思いやりを伝える	家庭 平和集会・合同集会に向けての準備	③平和集会に参加する

図1 平成20年度 第3学年10月学習プログラム

## 年間道徳教育計画

学年	道徳の時間	総合的な学習の時間	連携活動	連携後の意義の深め
1年	道徳の授業	総合的な学習の時間	連携活動	連携後の意義の深め
2年	道徳の授業	総合的な学習の時間	連携活動	連携後の意義の深め
3年	道徳の授業	総合的な学習の時間	連携活動	連携後の意義の深め

## 本校の具体的実践

仮説②

その1

中心発問の工夫



道徳性の質の深まり



## 心情曲線

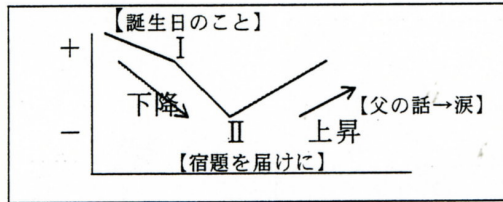


図2 資料における主人公の心情曲線

## 本校の具体的実践

仮説②

その2

**ワークシートや小グループの活用**



多様な価値観と触れ合う

自己表現や相互理解

自他を尊重できる心

## ワークシート

## 本校の具体的実践

仮説①②

**研究指標についての工夫**

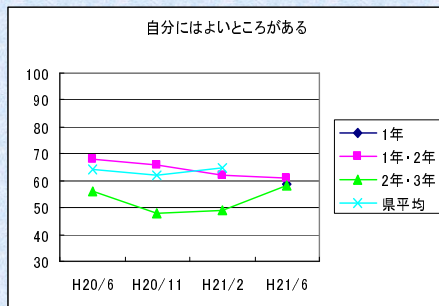


意識調査による数値の変化

記述内容による質の変化

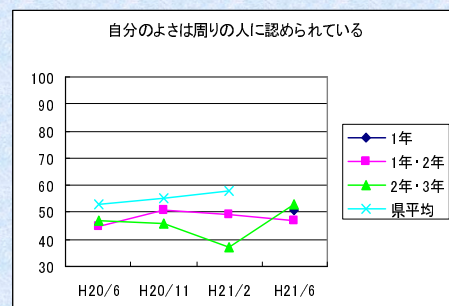
## 分析(意識調査より)

○自尊心に関する項目



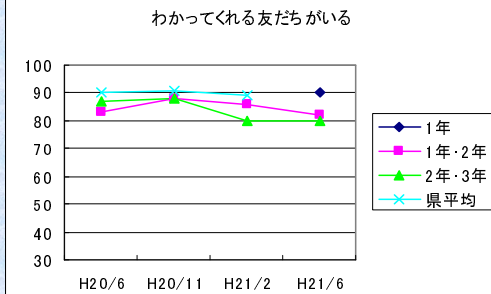
## 分析(意識調査より)

○自尊心に関する項目



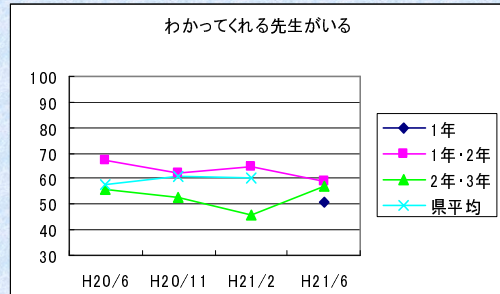
## 分析(意識調査より)

### ○相互理解に関する項目



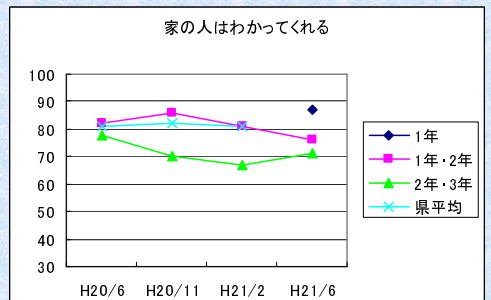
## 分析(意識調査より)

### ○相互理解に関する項目



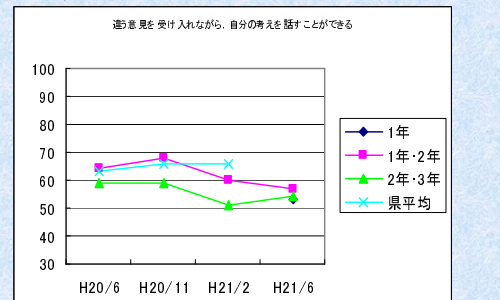
## 分析(意識調査より)

### ○相互理解に関する項目



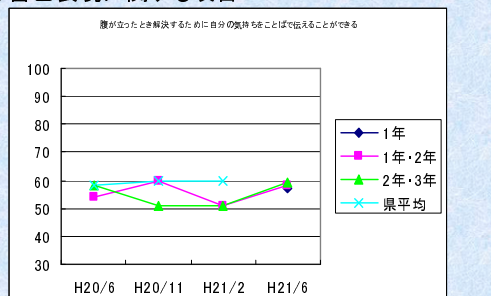
## 分析(意識調査より)

### ○自己表現に関する項目



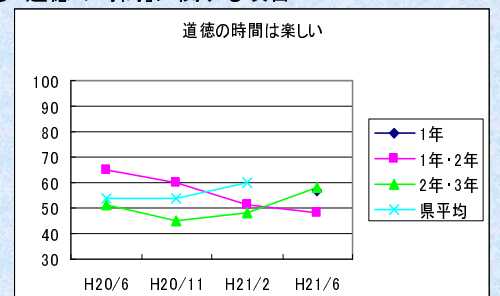
## 分析(意識調査より)

### ○自己表現に関する項目



## 分析(意識調査より)

### ○「道徳の時間」に関する項目







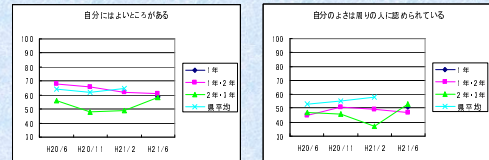
## これまでの成果

- ①「道徳の時間で学んだことを生かそうとする」生徒の増加
- ②「道徳」に意欲的に取り組む生徒の増加



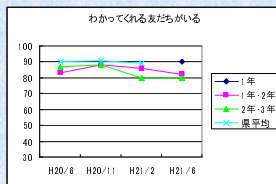
## これまでの成果

- ①「道徳の時間で学んだことを生かそうとする」生徒の増加
- ②「道徳」に意欲的に取り組む生徒の増加
- ③「自尊感情」の育成



## これまでの課題

- ①「わかってくれる友だちがいる」の項目が伸びていない



- ②生徒相互の意見交流が十分でない

## 改善方策

### 小グループでの話し合いのシステム化

**【組での話し合いの仕方】**  
 みんなの考えたことを出し合い、グループの意見をまとめよう。

話し合いの方法  
 ○司会：記録者、発表者を決める。(座席順にしたがって)  
 ○記録者は、発表者が後で発表しやすいようにキーワードをメモしよう。

- 全員が順番に意見を発表**  
 司会：〇〇さんから順番に意見を言ってください。  
 組員：自分の意見は( )です。  
 その理由は、( )だからです。
- 自由討議**  
 司会：賛同や意見をお願いします。  
 組員：〇〇さんの×××という意見(理由)に対して  
 ・そうは思わない  
 ・もっと詳しく教えて  
 ・思った  
 ・なるほどと思った など  
 そして、自分がどのように感じた理由やつけたらを言う。
- 意見発表**  
 司会：私たちのグループでは( )の意見を発表しますが、どうですか。
- 意見発表**  
 発表者：私たちのグループでは、( )のような意見ができました。  
 その理由として、( )といったものが出ました。

